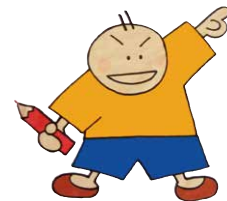


生活者ネットニュース



■発行:多摩・生活者ネットワーク ■発行責任者:原田恭子 ■連絡先:〒206-0014 多摩市乞田 1227-1-112 番地
■TEL:042-376-5758 ■FAX:042-376-8854 ■ホームページ <http://www.tama-net.jp/> ■E-mail:office@tama-net.jp

149号

持続可能な社会と持続可能な地球を目指す

人間の営みと自然環境とどう折り合いをつけていくか？自治体の果たす役割

とどまることを知らないアメリカの山火事、「極圏の永久凍土や氷河の融解、日本では局所で起るゲリラ豪雨や長雨、今までにあまり見られなかった竜巻やヒョウなど気候の変化を身近に感じるようになった。自然の驚異におののきながら私たちはどんな社会をめざせばいいのだろうか。

確実に進んでいる気候変動の波

地球温暖化に関する考え方は、世界でもまだ発展途上と言われているが、最も多くの科学的知見を集約し、かつ国際的にも認知されている「IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第4次報告書」は2007年、「このままでは多くの動植物の多様性が失われ、世界的に食糧危機に見舞われる」と警鐘を鳴らしていた。

自治体の電力調達新電力から撤退傾向に

2020年7月9日、国際環境NGO FoE Japan、国際環境NGO グリーンピース・ジャパンとともに東京・生活者ネットワークは、「東京都内への電力調達の状況に関する調査2020報告書」を発表した。この調査は、都内62自治体について、本庁舎の電力調達先、電力調達方針、再エネに関する方針等を調べたもの。調査結果を見ると、2011年はほとんどの自治体が東電から電力を調達していたが、2016年の電力自由化で、多くの新電力会社が

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

もっとも大きな理由は政府のエネルギー政策にある。世界の流れに反して政府はいまだに原発を基幹エネルギーと位置づけ、電力の安定供給という理由で火力発電とともに温存している。旧大手電力会社が所有する発電所は設備の原価償却がほとんど

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

終了しており、それを組み入れることで、再エネより安価で安定しているとアピールしている。しかし、「価格」を比較するならば、燃料費や運転費用、保守費用、環境配慮費用などを入れた「製造コスト」で比較すべきだ。

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

このように旧大手電力会社に有利な電力制度は、石炭火力・原発維持に働き、再エネの電力の普及は極めて危機的状況だ。国のエネルギー政策を転換させるのが一番だが、それに先行して地方自治体が環境に負荷を与えない再エネにシフトしていくことこそが求められている。そしてより地域分散型システムへのかじ取りに寄与すべきだ。

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

3年前にグレタさんが提唱した「毎週金曜日は学校を休んで温暖化対策に本気で取り組まない政治家たちへの抗議を！」の呼びかけに呼応した世界の若者たちが、金曜日の抗議デモを続けている。一方、ここ多摩市では、「私たち多摩市民は原発由来のエネルギーは使わない！」と、原発によ

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

市議会も共同宣言！

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

地球温暖化を止めるにはこの10年間で転換点であると言われている。再エネ利用を目標に、市、市民、事業者がワンチームになってこの難局を乗り越えなければならぬ！

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

多摩電力合同会社

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

http://tama-den.jp/

旧大手電力会社に有利な電力料金のからくり

多摩電力合同会社

再生可能エネルギーの調達を進めていくうえでの課題（複数回答）

課題	自治体数 (N=62)
財政上の制約	40
入札に参加する電力会社が少ない、ない	16
事業者の安定性	15
調達方針改訂のための庁舎内の合意形成	14
施設管理者との協議	6
再生可能エネルギーを重視する電力会社が地域にない	5
その他	8

「東京都内への電力調達の状況に関する調査2020報告書」より

ナラ枯れ病

和田にある「なな山緑地」で里山保全のボランティアをしています。

8月の最後の活動日、多摩グリーンボランティア森木会からの申し送りがありました。「ナラ枯れ病が広がっている様なので、なな山でも調べてみてください」とのことでした。

ナラ枯れ病？ ナラ菌を持った甲虫カシノナガキクイムシ（日本に昔からいた虫です）が、ナラ類やシイ、カシ類の木に穴を開けて侵入し、養分を吸い上げる機能を阻害し、枯死させてしまう病気で、根元から1m位の所に穴が開いているか、根元に木クズがあるか、木が枯れているかで見つけることができます。

枯れた木は切り倒し、その場所から離さなければなりません。虫が飛び、回りの木に菌を広げていくからです。2回の調査で19本のナラ枯れが見つかりました。その後の情報ですべての木を切り倒さなくてもよいと聞きました。が、なな山の調査は、まだ終わっていません。

私たちの暮らしを色々な面で支えてくれた森や雑木林を守り、次の世代に伝えていくにはどうしたら良いのか？ 考え行動しなければと、なな山の木々が送ってくれる風を感じながら思っています。

Y・Y



子どもの権利を守られる社会へ

■大事な成長期の「食」
3月の突然の一斉休校は、子どもたちの学びや居場所だけでなく「食」にも影響を与えました。その一つは成長に欠かせない栄養バランスが崩れる事、二つ目は十分な食事を摂ることができない子の存在であり、給食だけでも再開してほしいと心配する声を頂きました。コロナ禍においては、親も通常とは違った働き方と突然の休校が重なり、子どもにバランスのとれた食事まで手が回らない方も多かったと聞いています。市もそのような子どもの実態を認識していますが、その把握が難しく、されていないのが現状です。

しかし、子どもの健やかな成長に欠かせないからこそ、どうしたら非常時でも給食の提供ができるのか考えておくべきです。また、子どもの食の支援団体の方からは、大学生などからの相談も増えたと聞きました。

■分散登校で誰もが実感が
さて、学校の再開後、先生には消毒などに拍車がかかりました。一方、国立成育医療センターの調査結果によると、子どもたちの72%がストレス反応をみせており、今まで以上のきめ細やかな指導や先生が向き合ってくれる時間を必要としています。その為にも先生の働き方改革を、今進めていく必要があるのです。そして進めるために一番有効なのは、先生の数を増やし、少人数学級を実現することです。今回の定例会で学校教育に関わる陳情が2つありましたが、その2つとも少人数学級を求めています。長年議論がありました。今こそ少人数学級に大きく舵を切るべき時なのです。

共生社会の基盤としての「仕事」をめざして



■公園清掃を仕事として位置づけて
新型コロナウイルスは、私たちの暮らしの様々なところに影響を及ぼしています。その一つが「はたらく」であるとの思いから質問しました。

福祉団体は働く場として、一部の公園の清掃等担っています。昨年、生活者ネットワークの向井元議員が、「障がいを持つ方々の働く施設等からの優先調達を推進する」という法の観点から委託契約のもとで関わるべき」と質問し、市は、「業務委託としての整理を、今後、障がい者団体と協議しながら進める。」と、答弁しました。

その答弁から二年後の4月の非常事態宣言で公共施設が閉鎖され、障がい者団体の仕事にも影響がありました。もし、先の答弁のような公園清掃の委託化が進んでいけば、コロナ禍であれ一定の仕事があったはずですが、今回、市は、方向性には変わりはないとの答弁で

した。市には有言実行を求めます。

■多様な悩みを超えて働く
ソーシャルファームという考えが始まっています。共に学ぶ、インクルーシブ教育と同様に、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の理念のもと、障がいのある人も障がい者手帳の有無に関係なく、何らかの困難を抱える人も共に働くしくみです。東京都は条例を制定しましたが、ノウハウは市民や自治体が持っています。多摩市にもこうした働き方を地域で実践してきた団体があり、市もハートフルオフィス事業では発達障がいの方を通じ、ともに働く環境を学んだはずですが、さて、都の条例は雇う側である「企業」への働きかけですが、これまでは福祉分野による「働きにくい人」への支援でした。市は庁内連携し行うとの答弁でしたが、誰一人取り残さない共生社会を目指し、意欲的に進めて欲しいものです。

調査しました(公園のトイレ) ● 2020/7/12・9/13

外出中に急にトイレに行きたくなくて困ったことはありませんか？コロナ禍で公共施設の一時閉鎖やコンビニのトイレの使用禁止などもあり、仕方なしに公園のトイレに駆け込んだ方も多いのではないでしょうか。

日本の家庭や施設内のトイレは世界一進んでいるようですが、そのため公園のトイレとの落差は大きいものがありますね。汚くて臭かったり、暗くて怖かったり、犯罪の温床にもなりかねない公園のトイレ。市内の公園のトイレはどうなっているのか、多摩ネットの福祉部会で調査することになりました。

調査を実施するにあたり、トイレに関する本を読み、公園のトイレは設置管理者（東京都と

多摩市）の違いにより、トイレの標準仕様やトイレットペーパーの有無や掃除の回数などの基準が違うということがわかりました。

それをもとに16の点検項目をつくり、永山駅前から大谷戸公園までと多摩センター前からマロニエ公園までの2コース各6か所を2回に分けて調査しました。

- 調査して感じたことは、
- ①女性用・男性用と誰でもトイレの配置がいろいろなので、急いでいるときに目立つように大きな表示が必要。
 - ②和式が多いので、脚力が弱くなっている人もいるので立ち上がり時の手すりが必要。
 - ③ドアの開き方は、ほとんど内開きでした。親子で入るときや、中で倒れた人を助けるときに、外開きのほうが良い。
 - ④改修したばかりのトイレにオムツ替え台やベビーチェアがなかったのが残念。

公園のトイレは、日常はもちろん災害時にも安心して誰もが使えるように手すりなどを設置し、明るく清潔を保ってほしいです。

(福祉部員 S)

参考文献：山本耕平著 「トイレがつくるユニバーサルなまち」



左:多摩センター駅バスロータリーのトイレ
右:だれでもトイレが右端にある宝野公園

infomation

多摩市ツバメ調査団の報告書が完成!

パルテノン多摩の30周年にあたり、2016年、市と市民が共にツバメ調査を実施し、30年近く前の1986～87年の調査と比較・分析しました。調査にはネットのメンバーも多数参加しました。調査をしてみて、ツバメの巣のある家の方はツバメについて語りた方が多いということ。まるで我が子のように毎年やってくるツバメを大事にしていることがわかりました。マンションでも「ファンで苦情が出るから即撤去」ではなく、ファンよけを設置しながらツバメと共生する心の豊かさが必要ですね。来年もツバメの飛来が楽しみです。問い合わせ：多摩市環境政策課まで(042-338-6831)

今さら聞けない!? ごみの出し方クイズ

サラダ油やドレッシングのプラのボトル、どうやって出せばいい? ①洗ってプラスチックごみ ②燃やせるごみ ③燃やせないごみ
答は②
水や洗剤をたくさん使う①はお勧めしないそうです。



多摩市立武道館横にあるトイレ